養老川自然歩道(2)
(房総ふれあいの道)

禁複製転載

養老渓谷・粟又の滝　市原市・大多喜町
養老川上流にある屈指一の大滝で、隙間状に傾斜した岩盤の上を、約 100m に渡って流れ落ちていて、特に紅葉のころの眺めが最高です。
〈交通〉小湊鉄道養老渓谷駅バス 10 ～ 40 分

真高寺
禅刹臣の寺院で、この山門以外は明治元年の戊辰の役で焼失しました。板行相間を 3 間に取り、出入口を 1 ヵ所にした 2 階建てで、しかも屋根を入母屋造の 2 重構造にした立派なものです。

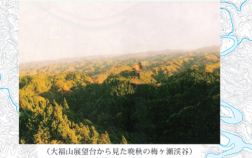
市原市民の森
市原市郊外の豊かな自然に恵まれた環境の中 117ha の自然林を整備し、いこいの場として利用できるようになっています。
園内 5.4km のもコースに別れた案内板を歩けば、四季に応じてキジ・ウグイスなどの野鳥の声も耳に届き、時折、リスやノウサギなども見られます。
又、水生植物の花菖蒲、はす、あじさいとそれぞれの花の美しさは、自然の神秘を深く印象づけています。

谷田
歩行中間所に丘陵の間に枝のように入り込んだ谷津に「谷田」を見ることができます。山すそからしぼり出された水や湧き水などを利用し水田を開発した古労がしのばれます。

水月寺　大多喜町
新緑の頃、境内に咲くイワツツジが見事な禅宗のお寺です。

麻綿原高原　大多喜町・鴨川市
25 万株のアジサイが高原の斜面を埋め、7 月中旬から 8 月上旬が見頃です。
〈交通〉JR 外房線安房天津駅バス 25 分後徒歩 1 時間
☎0470－80－1146（大多喜町観光協会）

梅ヶ瀬渓谷自然環境保全地域
■所 在 地　市原市大久保、朝生原、戸面、石塚及び戸面、石神新生原の入合地
■面　　積　236.64ha
■指定年月日　昭和 51 年 1 月 9 日
■概　　況　梅ヶ瀬渓谷は、養老川の支流が大福山の東側の丘陵を浸蝕してできた渓谷です。古くから、この地域は人が入ってから、人工林や伐採跡にできた二次林が大部分を占めています。自然林は近くの大福山の頂上に一部残されています。



（大福山展望台から見た晩秋の梅ヶ瀬渓谷）

ふれあいサンクチュアリー
梅ヶ瀬渓谷自然環境保全地域のなかには豊かな自然環境と身近に触れ合えるよう、「日高塔」緑地まで、遊歩道やベンチなど自然環境に配慮した、緑を感じる施設として整備されています。
また、ハイキングコースもありますのでゆとりに注意し、自然へのやさしい心をもって利用するようお願いいたします。

凡　例	
	養老川自然歩道
	首都圏自然歩道（関東ふれあいの道）
	主要国道、県道、市町村道
	南房総国定公園区域
	県立自然公園区域
	自然環境保全地域等

1:25,000
500　0　500　1000　1500　2000m

平成二十三年三月　千葉県環境部自然保護課
（〇四三－二二三－二一七七）

「この地図は、国土地理院長の承認を得て、縮尺国行の5万分の1地形図及び2万5千分の1地形図を複製したものである。（承認番号　平22業複、第 933 号）」